**令和２年度 第２回長野市歴史的風致維持向上協議会会議記録（概要）**

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 令和３年２月22日 (月)  |
| 午前10時～正午 |
| 場所 | 講堂（第二庁舎10階） |

出席委員　13名

赤羽委員、牛山委員、北村委員、小林（玲）委員、土本委員、梅干野委員、宮下委員、香山委員、古畑委員、小林（司）委員（代理出席）、塚田委員、岩片委員、樋口委員

(欠席委員２名　清水委員、徳武委員)

**１　開　会**

定足数の確認

**２　会長挨拶**

北村会長

**３　協議事項**

1. 長野市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について

|  |
| --- |
| ・説　明　事務局：資料１-１、１-２により長野市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について説明。 |
| ・意　見　戸隠茅場について、600束の刈り取りということだが、茅場全体ではどの程度刈り取りができるか確認して欲しい。・回　答　大体3,000から4,000束位は刈れるのではないかと聞いている。面積及び刈り取り可能な束数を確認する。 |
| ・質　問　弥栄神社の御祭礼の屋台巡行について、コロナ禍で行事が行われていないが、新田町での補修の補助をしたことで、「計画通り進捗している。」となっている。行事が行われなくても補修を１件すれば「計画通り」と言えるのか。・回　答　計画書では、具体的な件数に言及しておらず、「継続的に進めていく。」という表現をしている。細々とでも進めていくことが重要だと判断して、「計画通り進捗している。」とした。 |
| ・質　問　コロナ禍の中で、多くの地域で地域の伝統芸能、祭礼を執り行えないことがあったかと思う。少子高齢化により祭礼をやめてしまうということもあり得ることを危惧しており、行政の支援が必要である。伝統芸能継承事業の中で、今年度の状況や、地元の将来的展望も把握してもらいたい。・回　答　伝統芸能継承事業の補助は、36団体の内示に対し34団体交付し、２団体は取り下げとなった。地元でお祭りができず、区からの補助金が無いことで資金繰りができず取り下げとなったと聞いている。獅子舞フェスティバルは、例年約80団体の参加があるが、今年度は24団体であった。若い皆さんは参加したいと考えているが、地区でお祭りができないときにフェスティバルに出て良いかと意見もあり参加を見合わせている。今年も５月３日に獅子舞フェスティバルがあり、現在募集中で54団体から応募がある。皆さん続けていきたいという思いが強いため、何とか支援をし、コロナ禍の中での開催方法など、市からアドバイスなどの支援をしていきたい。 |
| ・意　見　コロナ禍の中でも、何とか出来る方法を考えて、前向きに積極的に進めていけるように支援をして欲しい。 |
| ・意　見　戸隠奥社社叢の保存に関連して、ここには「カワシンジュガイ」という特殊な氷河時代の生き残りの貝がいるが、県内で２か所位しか生息域が無い貴重な貝なので、分布状況をしっかり調査してもらいたい。・回　答　「カワシンジュガイ」は、種として市の天然記念物に指定しているが、生息域の範囲の指定はしていない。正確な生息域や生息個体数は把握していない。生息域が奥社社叢と隣接しているため、地元の協力を得ながら確認を行いたい。 |
| ・意　見　松代地区で継続的にまちなみ保存を進めていただき感謝する。伝統環境保存事業の推進に関し、近年この地区で宅地開発が進み、歴史的な町並みが大分崩れている。伝統環境保存事業だけでは町並みを修景するのは難しいと実感している。新築家屋が建つのはやむを得ないが、道路から見えるファサード部分をできるだけ城下町にふさわしい景観にする取り組みをぜひ考えてもらいたい。また、文武学校や真田邸周辺についても伝統環境保存区域の拡大を検討して欲しい。・回　答　伝統環境保存区域内で今年度13件の変更届が出ている。歴史的環境が失われていることに非常な危機感をもって対応している。伝統環境保存条例は、所有者の自主性に基づく届け出制度で、強制力が無いため、市に相談に来る段階では開発・滅却が前提となっていることが多い。早い段階で相談してもらえるよう地区の方に呼びかけており、地元と連絡を取りながら良好なファサードとなるようにしていきたい。殿町区域については、伝統環境保存区域4町の現状と殿町区域における歴史的建造物の状態を総体的に捉えた上で、地元の方と共に景観や伝統環境保全のためのふさわしい制度を検討したい。 |
| ・質　問　真田宝物館の老朽化に関し、「建替え」と表記がされ驚いているが、宝物館は築何年位経過しているのか。また、老朽化の進み具合はどうなのか。耐震診断などは行ったのか。・回　答　真田宝物館は異なる築年代の建物で構成される複合施設である。最も古い部分は、昭和38年松代高校の校舎として建てられた建物。以降昭和52年に現在の新館が建てられ、収蔵庫は昭和63年築。松代城・真田公園の一体的な整備の中に、耐震診断の実施も含めて検討する。 |
| ・質　問　北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業について、計画延長16km、施工済み４km、残り12kmだが、事業終期令和４年度で残り12kmを完成させるということか。令和２年度実績というのは約１kmだが、この２年間で残りを施工できるから「計画通り進捗している。」ということなのか。・回　答　重点区域内の総延長は9.8km、内2.5km程整備済みで、進捗状況25％である。橋梁、トンネルは原則使用しないとしており、既存の道路を迂回路として設定することを考えている。来年度からは、自転車活用推進計画の中で、自転車ネットワーク路線として位置付けることによって、補助金も入れながらできる限り進めていく。令和４年の事業終期までには全て竣工できない可能性はあるが、以上から「計画通り進捗している。」としている。 |
| ・意　見　多くの事業について「計画通り進捗している。」としているが、松代地区を歩いた際、整備が進んだ大変素晴らしい町並みであるにもかかわらず、来訪者は少なかった。大室古墳群のアクセスロードもそうであるが、整備だけ行っても人が伴わないと歴史的風致維持向上に繋がらない。大勢の人に知って訪れてもらい、外からも大勢の人が来るよう、庁内で連携して進めて欲しい。・回　答　松代は市外からの来訪者が多く、市民には意外と知られていない傾向がある。旧文武学校はリニューアルしたので、市民に来ていただくために優待券など市民向けのPRもしている。コロナ禍の中で、来場者は例年の半分くらいまで戻しているが、その内約３割は市民であり、学校を含めた地道なPR、口コミの効果だと思う。ポストコロナ、来年の御開帳と併せてPRを進められるよう、観光振興課と調整している。・意　見　長野商工会議所も松代支部を中心に、松代地区を積極的に盛り上げていく。 |
| ・質　問　北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業に関連して、廃線跡のトンネルは使用対象外とするとの話があったが、廃線後のトンネルをうまく利用して、地域の色々な産業の振興に使っている事例がある。老朽化や危険性の問題からそうした使い方ができないのか。・回　答　橋やトンネルは改修などに事業費がかかるため、原則使用しないということで地元との協議が整っている。 |
| ・意　見　松代・川田間のスムーズな人の移動には、関崎トンネルを利用するのが最も良い。また、関崎トンネルは、大正時代のコンクリート製のトンネルという意味で産業遺産として活用できる。構造もしっかりしているので、人の移動、近代産業遺産として残すという意味で、活用を検討してもらいたい。 |
| ・意　見　松代地区は、次の時代に向けて色々な動きが出てきている。個々の事業を関連付けて包括的に捉える必要があり、将来を見据えて地域のあり方をきちんと考えてなければならない時期だと思う。地域の全体像を構想していく上では駅舎や周辺の整備のあり方が非常に重要である。地元の皆さんと一緒に考えていってもらいたい。 |
| 1. 長野市歴史的風致維持向上計画の変更について
 |
| ・説　明　事務局：資料２-１、２-２、２－３により長野市歴史的風致維持向上計画の変更について説明 |
| ・意見等　特に無し。 |
| 1. 現行計画の課題整理と次期計画に向けた検討について
 |
| ・説　明　事務局：資料３－１、３－２、３－３により現行計画の課題整理と次期計画に向けた検討について説明。 |
| ・意　見　次期計画の策定に当たり、景観を含めて考えることが重要。長野市は、歴史的建造物が背後の山の稜線と関係性を持つことによって決定的な景観を作ってきていることが特徴であるため、その点を十分配慮して検討してもらいたい。 |
| ・意　見　文化財保存活用推進計画を作ることは有益であると思う。松代町内の文化施設は、入館料金を上げて非常に立派なものになったが、住民にとっては生涯学習の場として気軽に活用するという状況ではない。山口県萩市の「まるごと博物館」構想では、文化施設の年間パスポートを発行している。市民が文化施設に親しむことで地域の歴史的風致、歴史文化遺産を守り育てていくような気運が高まると思う。観光と生涯学習がバランスよく発展していくよう年間パスポート発行などの施策を推進してもらいたい。 |
| ・意　見　本協議会において女性の委員が少なく、女性の視点が会議に反映されにくい。女性は、大変勇気を持って発言しているような状況のため、今後増やしていただきたい。 |

1. 歴史的風致形成建造物の候補物件について

|  |
| --- |
| ・説　明　事務局：資料４により歴史的風致形成建造物の指定について説明。 |
| ・意見等　特に無し。 |

**４　閉　会**

都市整備部　平澤次長